

ケープタウン条約講演会
SJACの活動状況「日本の課題と今後の活動」

目次

- 日本における条約の検討経緯
- 2009年以降の活動状況
- SJAC調査・検討状況
- 日本の課題と今後の活動

日本における条約の検討経緯

- 1回目 2003年
 - 国際航空宇宙工業会 (ICCAIA) の議論
 - SJACによる講演会, 勉強会
- 2回目 2005年
 - 海外航空機メーカーからの情報
 - 国内団体による勉強会
- 3回目 2009年
 - 国産小型ジェット機開発
 - SJACケープタウン条約検討委員会

2009年以降の活動状況

- 2009年
 - －SJACケーブタウン条約検討委員会設立
 - －ケーブタウン条約の概要調査
 - ・SJAC委員会 外部講師講演, 意見集約
- 2010年
 - －日本の条約批准に関する影響調査
 - ・国内法制上の検討
 - ・海外調査

2009年以降の活動状況

- 2011年

- 日本 の 条 約 批 准 に 関 す る 影 響 調 査

- 国 内 関 連 業 界 へ の ヒ ア リ ン グ

- 2012年

- 情 報 収 集 活 動

- ASEAN, AWGバンコクでのセミナー

- シンガポール航空産業の調査

SJAC調査・検討状況

- ケープタウン条約
 - 航空ファイナンス 国内法と別の国際的権益創設, 統一された救済内容
 - 国際登録の順位により優先関係が明確化
 - ファイナンスリスク最小化 債権者, 債務者双方 Win-Winの関係
 - 2006年発効
 - 批准国 46ヶ国

SJAC調査・検討状況

- SJACの理解

- 条約による航空機ファイナンスのリスク最小化

- 債権者，債務者双方にメリットがある

- 国内関係業界

- 金融機関・リース会社：担保権強化には好意的，
条約批准にはさまざまな意見がある

- 国内エアライン：従来からの資金調達への影響懸念，
低金利資金調達への期待の両サイドの意見がある

- 問題意識の共有が重要，条約の必要性を議論

- 国内法

- 国の事情に合わせた宣言規定，法改正範囲が限定

課題と今後の活動

- SJACは、日本の条約批准を希望
- 課題
 - －日本に適した条約批准形態
- 今後の活動
 - －国際的テーマ
 - ・世界的に条約批准国が増加
 - ・日本の条約批准への海外からの期待と批准要請
 - －SJACは、ケープタウン条約の調査活動を継続し、情報提供する